

121031 コガタスズメバチ

道路沿いの法面部で、「コガタスズメバチ」の巣が見つかりました。

さて、「コガタスズメバチ」とは...

外見は「オオスズメバチ」とそっくりですが、大きさは女王バチで30mm弱、働きバチで25mmほどと、大型のスズメバチの中では中くらいの大きさです。

(オオスズメバチ > ヒメスズメバチ > モンスズメバチ ≡ コガタスズメバチ > キイロスズメバチ)

北海道から沖縄にかけて、平地～低山地で普通に見ることのできる種です。

営巣場所は木の枝や家屋の軒下など、比較的開放的な場所が多いようです。

最盛期(9月頃)には巣の大きさが300mm(縦)×250mm(横)くらいになりますが、今回見つかった巣はそれよりもやや小さめでした。

雄バチと新女王バチは9月～11月頃に羽化し、11月の末頃にはこの巣も使われなくなり、新女王バチ以外はすべて死に絶えてしまいます...

(他巣生まれの雄バチと交尾した新女王バチは、朽木の中などで越冬します。一つの巣から生まれ出る新女王バチの数は、比較的小さなコロニーを形成する本種では数十頭程度とされています。)

なお、本種は攻撃性、威嚇性ともに他種の大型スズメバチに比べて弱い方ですが、巣を刺激したりすると激しく攻撃してきますので、出会っても安心はできませんね。

写真 : 道路の法面部で発見された巣

出入り口に「門番」役の働きバチの影が...

写真 : 働きバチ(ワーカー)

出入り口の内部の「門番」は横向き(頭頂部が左)で、外部の様子を窺っていますね。巣表面にいる働きバチは、巣壁を補修中のようです。

写真 : 外部に異変??

「門番」(頭頂部が右)が少し身を乗り出して、外部の様子を探っているようです。

写真 : 2匹の「門番」

2匹の門番は、頭頂部を出入り口の中央に突き合わせたような横向きの体勢で、巣外の広い範囲の警戒に余念がないようです...

写真 : 出巣

巣の中から2匹が出てきました。

ハンティングか巣材集めに出かけるのでしょうか?

写真 : 帰巣

巣に戻ってきた働きバチを、「門番」がチェック!

匂いで姉妹か否かを判断しているのでしょうか?

















